

絆

～きずな～



ようやく涼しくなりました。残暑が長かったので秋を楽しむ間もなく冬がやってきそうですね。季節の変わり目は、体調を崩しやすいので、みなさん十分気をつけてください。

安心・安全な学校に……

文化祭・体育祭と大きな行事が二つ終わりました。みなさんのパワーと団結力を感じました。最後にゴールする人にも拍手が送られる場面もあり、とても温かい気持ちになりました。午後のソーランとエイサーも素晴らしかったです。

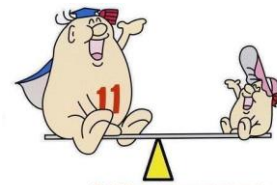
みなさんのすばらしい姿を見たばかりですが、近頃、学校全体が少し落ち着きをなくしているように感じます。ろう下を歩いていると、大きな物音がしたり、心ない発言が聞こえてきたりします。学校は「安心・安全な場所」であるべきです。大きな物音がして、心ない言葉が聞こえてくることがあると、「安心・安全な場所」だと言えるでしょうか。

自分の心が落ち着けば、自分自身にも人にも優しくなれます。その積み重ねが学校生活の「安心・安全」につながるのではないのでしょうか。

だれでもイライラすることがあります。失敗することもあります。人から注意をされることもあります。そんなとき、「〇〇で時間がなかったから…」「〇〇さんが教えてくれなかったから…」「〇〇さんが言ってたから」と他人や別の何かに責任を押しつけてはいませんか。他人や別の何かに責任を押しつけても、何も解決はしません。自分を振り返って見ていますか。

自分自身を振り返りながら、右の詩を読んでみてください。

あなたは自分自身に「水やり」をしていますか。「水やり」とは「喜び」や「充実感」だと私は思います。そして「水」を得る方法は人によって違います。あなたはどんな「水やり」をし、どうやって自分の感受性を守りますか。



毎月11日は「人権を確かめあう日」です
(1986年8月1日に昭和対策委員会が定められたことを記念して制定)

2024.11.11(月)発行

文責 辻本はるひ



自分の感受性くらい

茨木のり子

ばさばさに乾いてゆく心を
人のせいにはするな
みずから水やりを怠（おこた）っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛（いら）立つのを
近親のせいにはするな
なにかも下手だったのは わたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそも ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳（そんげん）の放棄（ほうき）

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

*感受性…外からの刺激を感じとる能力。 *怠る…なまける。いいかげんにする。
*尊厳…気高い様子。犯してはならないもの。 *放棄…投げ捨てること。捨て去ること。

最後の「ばかものよ」は、他人に向けたものではなく、自分自身に向けた言葉です。

